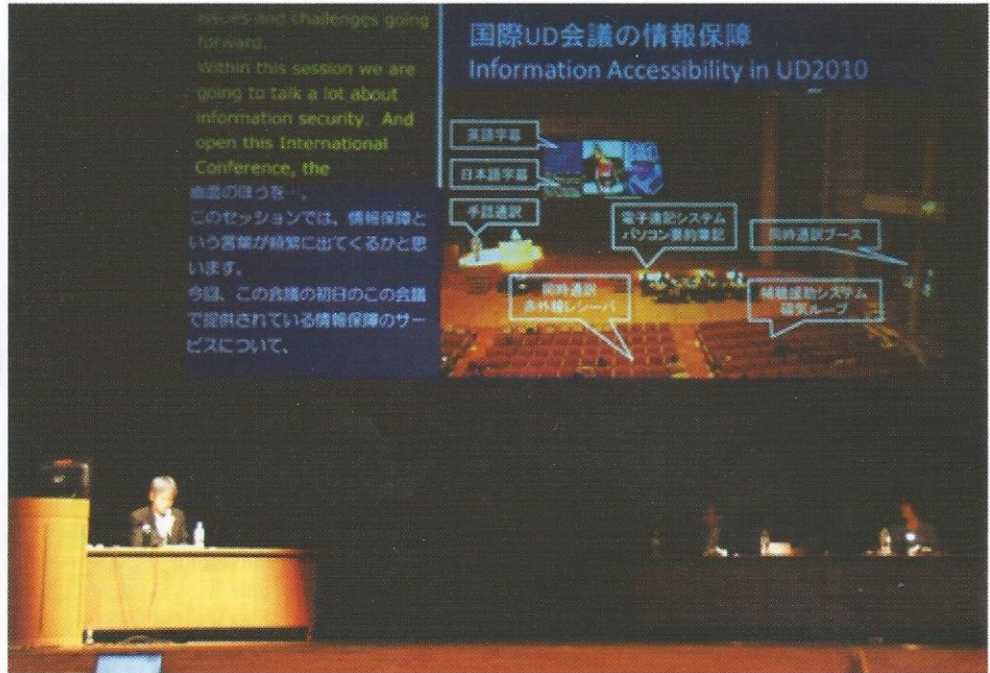


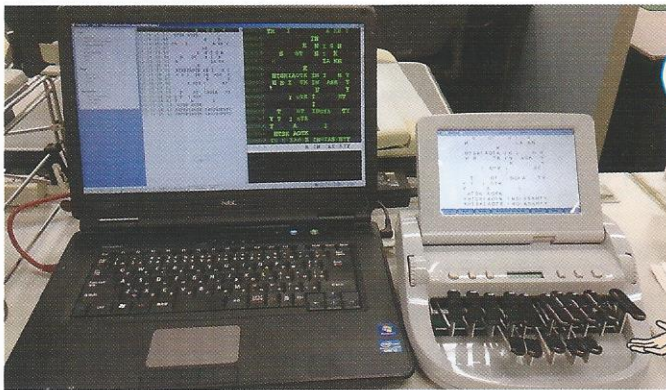
IT法廷の実現も速記官の養成再開から

さまざまな司法サービスの実現が可能

- 速記録の電子データを、その日のうちに、EメールやWEBサイトからのダウンロードで受け取ることも可能になります。
- 受信した速記録データの文字情報の重要部分にマークを入れたり、注釈を付けることが可能になります。次回法廷の準備や確認が容易で便利になります。
- 速記によるリアルタイム字幕を点字に訳すソフトで、視覚障がい者の裁判参加の支援ができます。
- 法廷の音声と映像を送信するシステムを活用し、遠隔地の法廷にも文字情報の送信が可能です。

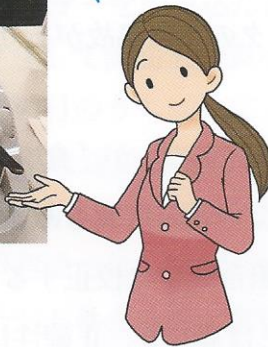


写真は、「第3回ユニヴァーサルデザイン会議」(2010年10月・浜松市)で行った字幕付け。英語字幕と共に日本語字幕もリアルタイム速記で出しました。



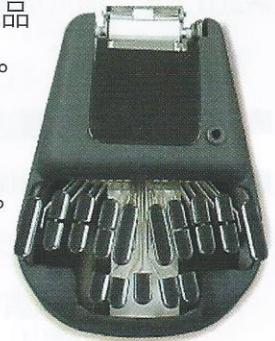
電子速記タイプ+「はやとくん」(反訳ソフト)
速記をすればすぐに日本語で表示される。
キーが軽く、身体に優しい。

速記のプロが使っています



最高裁支給のソクタイプ

速記符号のみ印字。改めて文章起こしが必要。キーが重く、職業病発症多数。十数年前に製造中止。中古品は故障続発。使用する速記官はほとんどいない。最高裁はソクタイプに固執。



裁判所速記官制度を守り、司法の充実・強化を求める会

事務局 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-1-4 全司法東京地連気付
FAX.03-3581-2705 (2015.2)

ブログは「裁判所速記官制度を守る会」 [検索](#) 